

JENESYS2016 招へいプログラム2陣

対象国：カンボジア テーマ：(技術) 科学技術交流

対象国：タイ テーマ：(文化) 日本語コミュニケーション・日本文化交流
の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2016」として、カンボジアより高校生および引率者の計25名、タイより日本語教師25名が、10月18日～10月25日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、教育及び外交政策等の対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。参加者は企業視察、文化体験、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】カンボジア 25名、タイ 25名（五十音順）

【訪問地】東京都（全員）、北海道（カンボジア：25名）、大阪府・奈良県（タイ：25名）

2. 日程

- 10月18日（火） 成田国際空港より入国
【オリエンテーション】
- 10月19日（水） 【日本理解講義】「日本の製造技術の発展と将来」（カンボジア）
「今日の日本」（タイ）
【最先端技術視察】日本科学未来館（カンボジア）
【歴史的建造物視察/文化体験】江戸東京博物館（タイ）
- 10月20日（木）～10月24日（月）
2グループに分かれ、各地方へ移動
- (1) カンボジア（技術）：北海道
【最先端技術視察】札幌市青少年科学館、北海道立教育研究所
附属理科教育センター
【学校交流】北海道札幌国立情報高等学校
【ホームステイ】
【ワークショップ】
- (2) タイ（文化）：大阪府・奈良県
【歴史的建造物視察】大仙公園（仁徳天皇陵・堺市博物館）、
東大寺
【文化体験】茶道（大仙公園内 日本庭園）

【学校交流】天理大学

【ホームステイ】

【ワークショップ】

10月24日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動

【報告会】

10月25日（火） 成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真 共通プログラム（東京都）

	
10/19 【日本理解講義/基調講演】 【Lecture on Japanese Culture/Key Note Lecture】	10/19 【最先端技術視察】日本科学未来館 【 Observation of Cutting-Edge Technology】 National Museum of Emerging Science and Innovation (MiraiKan)

カンボジア（技術）：北海道

	
10/20 【最先端技術視察】札幌市青少年科学館 【Observation of Cutting-Edge Technology】 Sapporo Science Center	10/21 【最先端技術視察】北海道立教育研究所附属理科育センター 【Observation of Cutting-Edge Technology】 Hokkaido Education Research Institute



10/21 【学校交流】北海道札幌国際情報高等学校

【School Exchange】Hokkaido Sapporo Intercultural and Technological High School



10/21 【学校交流】北海道札幌国際情報高等学校

【School Exchange】Hokkaido Sapporo Intercultural and Technological High School



10/23 【ホームステイ歓送会】

【Farewell Party with Host Family】



10/24 【報告会】

【Reporting Session】

タイ（文化）：大阪・奈良



10/20 【文化体験】大仙公園

【Cultural Experience】Daisen Park



10/21 【学校交流】天理大学

【School Exchange】Tenri University

	
<p>10/21【歴史的建造物視察】東大寺 【Observation of Historical Landmark】 Todai-ji Temple</p>	<p>10/22【ホームステイ】(宇陀市) 【Homestay】Uda City</p>
	
<p>10/22【文化体験】座禅体験 【Cultural Experience】Experience of Zen Meditation</p>	<p>10/24【報告会】 【Reporting Session】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ カンボジア 学生

北海道立教育研究所付属理科教育センターが印象に残っています。簡単な材料である紙、磁石やコイル等からイヤホンを作れること、そして地学にも興味を持ちました。火山の原因やその恐ろしさもよく理解できました。サイエンスカーも様々な最新技術の機械が設置されていてとてもすばらしかったです。

◆ カンボジア 学生

訪日して最初に感じたのは日本人が一部のカンボジア人と違って交通ルールを遵守していることでした。労働者も勤務時間をきちんと守っています。浅草の散策はカンボジアの千年以上の歴史のあるアンコールワット地域と似ている日本の伝統文化を知りました。学校交流では学校同士の競技大会があり、生徒男女ともに参加できる教育制度がカンボジアと違ってすばらしいと思いました。学校の生徒たちは秩序が正しくとてもフレンドリーでした。

◆ カンボジア 学生

ホームステイでは、ホストファミリーが私たちが快く受け入れてくれました。私たちは多くの経験を交換しました。私たちのために時間と金銭等を費やしてくれたホストファミリーに心から感謝しています。このプログラムを通して喜びとともに新しい知識や忘れることができない思い出を得ることができました。今後も両国のますますの関係を深めるために、日本への留学を希望しています。

◆ タイ 学生

日本理解講義と日本での滞在で感じた日本の文化を通じて、日本人、社会の状況、経済や日本の歴史を学ぶことが出来ました。また、日本の発展について考えさせられました。その発展とは「技術と努力」があったから、日本がこれまで発展してきたのだと感じました。江戸東京博物館に見学に行ったとき、その発展ぶりを見ました。例えば、江戸時代から、水道施設があったことや廃棄物などを農家の人に売るビジネスなど、この江戸東京博物館だけでなく堺市の博物館でも同様に感じました。古墳時代から発展してきているのも分かりました。例えば仁徳天皇陵などです。ここでの説明を聞いて、本当に感激しました。そのほかにも、タイとは違う禅や座禅の話聞き感激しました。静寂、繊細さや人生感などはタイとはずいぶん違いました。

5. 受入れ側の感想

◆タイ・ホストファミリー

食事の時に、私の義母にも一緒に食べようと声をかけてくれました。タイでは、家族みんなで食事をすることを大事にしていることがわかりました。

◆カンボジア・ホストファミリー

今回の交流で一番感じたのは、心は通じるということです。互いに話したい、楽しみたいという気持ちがあったからこそ、本当の親友になることができました。今度は私が彼女たちの国に行って、いろいろなことを体験したいです。

◆タイ・学校交流先

授業視察では、日本語教育現場に直に触れる機会を提供することで、教え方や授業の進め方などを学んでいただけのように思います。特に漢字の授業では、外国人にいかに漢字を教えるかという悩みを持っている方も少なからずいたようで、日本人講師の授業を見つめる真剣な眼差しが印象的でした。

◆カンボジア・学校交流先

高校入学後半年で外国人高校生となんのためらいもなく積極的に係わっていかうとする本校の生徒に改めて感心をしたと同時に、カンボジアの生徒の熱心な見学の様子や様々な質問にカンボジア生徒のまじめさ・ひたむきさが伝わりました。

6. 参加者の対外発信

 <p>The screenshot shows a Facebook page for 'banzaichaiyo'. The profile picture is a large group photo of many people, likely participants and organizers, standing in front of a banner that says 'JENESYS'. The page name is 'banzaichaiyo' and it has a cover photo of the same group. The page is in Thai language.</p>	 <p>The screenshot shows a Facebook post by Ly Soputha. The post is in Khmer and includes the text '#Jenesys2016', '#JICE', and '#Cambodia'. Below the text is a video thumbnail with the title 'Day 5 - Home Stay Experience' and 'JENESYS 2016'. The video shows people walking in a park-like setting.</p>
<p>タイ : Face book を立ち上げ「banzaichaiyo」と名付けました。 万歳は日本語の意味で、チャイヨウはタイ語で万歳です。日本語を学んでいる人ならだれでもこのFace book にアクセスすることにより、日本語や日本についての知識を UPDATE することができます。 来日 6 日目歓送会でホストファミリーと一緒に写真を撮りました。</p>	<p>カンボジア : Jenesys2016 プログラムの 5 日目のホームステイにおいて、日本のホストファミリーと丸山動物園で過し、一生の思い出ができたことを動画にしました。</p>
<p>Thailand: We open our Facebook page and named “banzaichaiyo” . Banzai is Japanese and Chaiyo means same as banzai in Thai. Everybody who studies Japanese can access this Facebook page and update their knowledge of Japanese and Japan. We took this picture at farewell party with our host family on the 6th day after came to Japan.</p>	<p>We made video of when we went to Maruyama zoo with our Japanese host family on the 5th day of JENESYS 2016 program that we will never forget that for the rest of my life.</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	 <p style="text-align: center;">紙イヤホン作成中</p>
<p>タイ：プロジェクトに、新たに名前を付けました。日本、教育、ネットワーク、経験、勉学、若者、学生の頭文字をとって JENESYS と名付けました。</p>	<p>カンボジア：北海道立教育研究所附属理科教育センターにて、紙イヤホン作成を通じて、イヤホンの仕組みを理解した上で、科学って面白いと実感した。科学の魅力を発信したい。</p>
<p>Thailand: We named our project “JENESYS”. It takes the first letter of Japan, Education, Network, Experience, Study, Youth and Student.</p>	<p>Cambodia: We found science is interesting after understanding the mechanism of earphone through making paper-made earphone at Science Education Center attached to Hokkaido Education Research Institute. We want to promote the charms of science.</p>